

## 令和3年鋸南町教育委員会第1回定例会議事録

1. 日 時 令和3年1月28日（木）午後2時00分開会～午後2時52分閉会
2. 場 所 鋸南町立中央公民館 2階会議室
3. 出席委員 教育長 富永安男 教育長職務代理者 山野正人  
委 員 中山郁夫 委 員 篠原恭恵
4. 出席職員 教育課長 福原規生 主任指導主事 桂 幸一  
教育総務室長 石井 肇 生涯学習室長 笹生浩樹
5. 開 会 富永教育長が開会を宣言
6. 議事録署名人の指名 富永教育長が中山委員を指名
7. 議事録の承認 令和2年12月17日開催の第13回定例会議事録について承認
8. 会議の傍聴 傍聴者無し

### 9 教育長の報告

本日は1点ご報告をいたします。

前回定例会で、鋸南幼小中の教育構想について説明をいたしました。その中で学園構想についてお話をし、教育委員の皆様からご意見をいただきました。

関係各位、現場を中心に意見を集めましたところ、別紙の1月7日開催の校長会資料を見ていただきたいと思います。概ねそのような意見がありました。この中には皆様から戴いた意見もあります。

概ね賛成ということで、私は理解したつもりです。ならば、それに向けて、早速にも新年度から始めてみたいということで、町長をはじめ町当局には、朝の打ち合わせなどで11月と12月に少しずつ協議をしておりました。

実施に当たって、別紙の学園構想に関わる教育委員会規則案を作成し説明をしていたところであります。

今回の狙いとは言いますと、学園化することによって幼小中の先生方が同じ鋸南町の子どもを育てる上において、一致団結していこうという教職員の意識改革と、発展充実を主な目標としてお話をしました。

結論から申しますと、町当局の考えは、この学園構想は現段階では容認しがたいということでした。

その理由としては、学園に名前を変えること自体をとっても、先の統合問題と同じ位の比重で考えるべき重要な案件だということです。

また、どちらかというとなんて学園化することは、形を揃えてがんばりましょうということが無きにしもあらずでして、そういうことであれば、形だけならあえてやる必要も無いのではないかと、学園にする必要はあまり感じられないというのが大きな理由ということでした。

さらに、議会にも説明する必要がありますし、このコロナ禍にあつて、現状ではタイミングが良くないということもあるようです。

そのようなことを総合しますと、どうしても行うわけには参りませんので断念した次第です。

学校が連携して行くことについては、どんどん進めて下さいとのことですので、常々思っている教育構想は着実に進めて参りたいと考えています。

教育委員の皆様にも、色々ご意見をいただく中で、このような結論になりましたので、申し訳ありませんが報告をさせていただきました。

南房総市の例も引き合いに出しましたが、他所のことはともかく、鋸南の事で考えていきたいと思いますという事でした。

私も同感でありますから、内容を充実させながら、また時代も児童生徒数の減少も急速に進みますから、その状況を踏まえて適切な施策を打っていかねばならないと考えております。以上で、私の報告とさせていただきます。

## 10 報告事項

### (1) 行事の後援の承認について

石井教育総務室長から、行事の後援承認は前回の定例会以降に1件あったと、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

### (2) 各担当からの報告について

- ① 桂主任指導主事から、小中学校の児童・生徒の様子と生徒指導関係について、新型コロナウイルス対応について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

#### (質疑)

- ・ 山野委員から「授業における外部人材の活用とは、例えばどのような人ですか。」との質疑に対し、

桂主任指導主事から「例えば、警察官から防犯について講話をいただくなど、学校関係者以外から勉強することが考えられます。」との答弁がなされた。

- ・ 中山委員から「学校を休む基準は家族に濃厚接触者がいる場合ですか。その場合は出席扱いになりますか。」との質疑に対し、

桂主任指導主事から「厳密に言うと、本人が罹った場合や濃厚接触者になった場合は、保健所の指導で出席停止扱いになります。また、保護者が自主的に休ませる場合も出席停止扱いで構わないことになっています。」との答弁がなされた。

#### (意見)

- ・ 篠原委員から「コロナ禍で先生方は、大変な気遣いをされ授業を行っていますが、今後も色々な工夫をお願いします。また、ソーシャルディスタンスを徹底し、クラス

ターが発生しないようお願いします。」との意見があった。

- ② 笹生生涯学習室長から、町社会教育施設の緊急事態宣言発出における対応について、各種行事の中止について、資料館で開催した展覧会の事業実績について、成人者に対する記念DVD等の制作について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

(質疑)

- ・ 篠原委員から「展覧会入館者の町内外の割合は。」との質疑に対し、  
笹生生涯学習室長から「町外の方が8割から9割を占めています。」との答弁がなされた。

- ③ 石井教育総務室長から、教育委員会の学校訪問について、千葉県教育委員会連絡協議会研修会の動画配信について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

(質疑)

- ・ 中山委員から「学校訪問は中学校のみですが、外部の人が訪問して大丈夫でしょうか」との質疑に対し、  
福原課長から「中学校であれば十分距離が取れることと、2月18日であれば緊急事態宣言も解除される予定であり計画しました。ただし、緊急事態宣言が延長された場合は日程の変更もあります」との答弁がなされた。

- ④ 福原教育課長から、卒業式と入学式について、叙勲について、元教育関係者の近況について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

## 11 その他

- ① 石井教育総務室長から今後の行事日程について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。
- ② 富永教育長から、来年4月の定例会について協議があり、4月15日木曜日の午後2時から中央公民館で開催することに決定した。

## 12 閉会 富永教育長が閉会を宣言

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和3年2月18日

鋸南町教育委員会 教育長 富永安男

教育委員 中山郁夫

議事録作成 事務局 石井肇